

徳島子どもと教育

徳島県教職員の会

〒771-0017 徳島市川内町鶴島115
黄金ビル 徳島労運事務所内
TEL 088-665-6644
FAX 088-665-2117
携帯 090-2891-5189
eメール dp12287892@pf.lolipop.jp
2017年2月6日 213

全国教職員学習交流集会in神奈川 (2016.12.03～4)に参加して

神奈川で行われた全国教職員学習交流集会に参加しました。集会は、安倍教育再生の名のもとで教育の本質が見失われつつある現実をしっかりと見つめ、子どもと教育・くらしを守る運動の実践の成果を学び合うものでした。

九条改憲を阻止するのは市民の共同の力！

小森陽一さん(東京大学教授、九条の会事務局長)の講演から

全体会では、小森陽一さんの講演がありました。安倍内閣による特定秘密保護法、集団的自衛権行使容認、安保関連法と次々に強行される政治に対して、危機感と怒りを持った多くの市民が、共同をしてきた運動の流れを歴史的に分かりやすく話してくれました。今さらながら、安倍政権の国民を無視した暴走に憤りを感じて聞きました。「戦争させない・9条壊すな！総ががり行動実行委員会」という組織のまっただ中にいる小森さんの言葉から、市民の共同こそ平和憲法を守る大きな力があると確信しました。



講演する小森陽一さん

「アクティブ・ラーニング」「インクルーシブ教育」って子どもにとっていいことなの？

※ アクティブ・ラーニングを乗り越える

中教審は学習指導要領改訂の審議のまとめを出し、アクティブ・ラーニングを強調しています。1日目は「アクティブ・ラーニングを乗り越える」の講座に参加し

ました。講座では、小4総合の学習で子どもと共にカイコを育てる実践レポートが出されていました。すばらしいと思ったのは、子どものやりたい気持ちを大切に、子どもと話し合いながら授業を進め、子どもたちがどんどん主体的に取り組んでいくようになったことでした。やがて、子どもたちが言いたいことや要求をきちんと突きつけられるようになったそうです。主体性とは何かということを考えさせられました。

授業の工夫は、教師として不断に続けていかなければいけないことだと思いますが、今、現場では「アクティブ・ラーニング」という指導法を形式化してしまう懸念がすでに現実となっているようです。どんな力を子どもたちに付けていくのか教師の側が持つことが大事だと思いました。

※ 驚くべきインクルーシブ教育

2日目は「教育条件の改善」の分科会に参加しました。その中で神奈川の高校改革についての報告がありました。特に、問題山積のままインクルーシブ教育が全国に先駆けて行われようとしていて、驚く内容でした。インクルーシブ教育推進パイロット校で、普通科高校の普通教室に知的障害のある生徒を1校21人受け入れるというものです。1クラスに3人です。「共生社会の実現に向け、障がいのあるな



神奈川県教職員の実行委員のみなさん

しにかかわらず、できるだけすべての子どもが同じ場で共に学び、共に育つことをめざす」と(かながわ教育ビジョンより)という目的らしいですが、神奈川では、多くの市民団体が合同で緊急請願を出し、特別予算措置など条件整備を求めています。いずれ、全国に広がってくるかもしれませんが、実施される前に、障害のある人に対する合理的配慮について、どのようなことが大切なのかを

考え、運動していく必要があると思いました。

(阿波・吉野川市ブロック会員)

*** 集会でもらったレポートなどに興味のある方はお貸ししますので、連絡ください。(090-2891-5189)**

退職後も教職員の会員で

民主主義と教育を守るために

教職員の会の会則には、「徳島県内の教職員・教職員退職者で構成する」とあります。子どもと教育・くらしを守るためにも、日本の平和と民主主義を守るためにも、教職員の会にとどまり、教職員の会を支えてくださいますようお願いいたします。

教え子を戦場に送らないためにも

安倍政権は、教科書の民主的な内容を攻撃し、侵略戦争を賛美する教科書を採用させました。また、戦前の「修身」にも通じる道徳の教科化を、反対の声を無視して強行しました。そして2017年は、安倍首相の悲願である憲法改定に向けて突っ走ろうとしています。国防軍を創設して世界中に軍隊を派兵するための憲法9条の改悪、独裁者を生み出す緊急事態条項の創設など、日本の民主主義を根こそぎ破壊し、若者を戦場に送り出す準備が着々と進められています。

こうした中、教職員の会は、「教え子を戦場に送るな!」「憲法守れ!」の立場で声をあげてきました。また、また、教職員の要求の実現を、文科省・県教委などに求めています。

「2017 全国教育のうたごえ祭典 in とくしま」にご協力ください

「2017 全国教育のうたごえ祭典 in とくしま」が、8月19・20日に開催されます(右面参照)。教職員の会も、この祭典に協力することを世話人会で確認しました。このほど、「祭典」実行委員会から、下記のことにより要請がありました。いずれか一つでも結構です。よろしくお願いします。

集会を準備・運営する実行委員になってください。

「象列車」を一緒に歌ってください。

全国集会の直前の準備・集会当日の役割分担にご協力ください。

集会の宣伝(集会のあることを多くの方に広げて、上記 ~ へのご協力、当日の参加呼びかけ)にご協力ください。

上記のいずれかにご協力くださる方は、小野木さん(電話090-1322-3308)までご連絡ください。

全国から徳島に集う人達とあすを拓く音楽会を開催します
子育て日本一を目指す板野町から子どもらの幸せと平和を願って!

子どもらのいのち輝け

2017・全国教育のうたごえ祭典 in とくしま

2017 8/20(日曜) 13:00~ 大音楽会
板野町 文化の館 さくらホール
板野町大伏東谷13-1 TEL088-672-5888
19日(土曜)には 音楽発表会を開催します

かぜよあしたへ ~ 藍の故郷から ~

祭典記念曲「かぜよあしたへ」。『よしこの』『祖谷の粉引き唄』をはじめとする郷土の音楽。2018年にアジア初演から100年目を迎える「第九」。神山町神領小学校に県内でただ一体残る「青い目の人形」をうたう子どもたち。故郷が板野町のアンジェラアキが創った「拝啓十五の君へ」等を演奏する予定です。子どもらの命輝く未来へむけて、平和と幸せを願う思いをうたに託します。



指揮者・作曲家 藤村記一郎

合唱構成 『ぞうれっしゃがやってきた』

作詞 清水則雄 作曲 藤村記一郎

子どもと大人が感動を繋ぎ、30年以上うたいつづ『合唱構成 ぞうれっしゃがやってきた』を、ぜひごいっしょにうたってください。初めて歌う方、以前歌ってもう一度といわれる方、大歓迎です。全国から参加される皆さんも加えて大合唱団をつくりまします。小さな町から大きな感動を、風に乗せて送りましょう。子育て日本一を目指す町、板野町から!

主催 2017 全国教育のうたごえ祭典inとくしま 実行委員会

お問合せ 実行委員会現地事務局 088・672・1378 (高原久美)

教育のうたごえ協議会議長 0561・58・4351 (藤村記一郎)

合唱構成 『ぞうれっしゃがやってきた』 作曲家・指揮者